



麓郷のこざ

令和6年度
富良野市立麓郷小中学校
「学校便り」No.10
令和7年1月発行
文責 教頭

なりたい自分

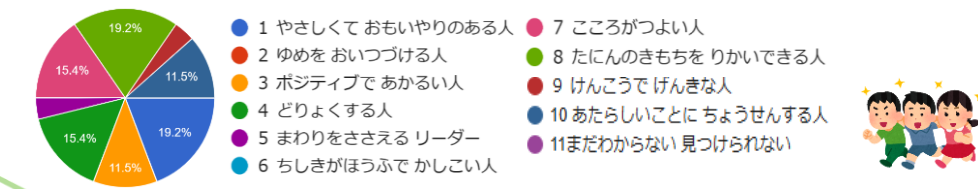
校長 島村 圭吾

1月の全校朝会では、3学期の過ごし方、次年度に向けて何をしたらよいかについて話をした後、「どんな人になりたいか」について、googleフォームを使って児童生徒に回答してもらいました。下のグラフからわかる通り、それぞれ約2割の児童生徒が「やさしくて思いやりのある人」「他人の気持ちを理解できる人」と回答し、続いて「努力する人」「心が強い人」という結果でした。多くの子が心の部分で『なりたい自分』があるということがわかります。

後期学校評価の児童生徒アンケート項目では『なりたい職業に向けて努力している』という項目だったため、まだ先のことということもあってか、イメージがわからない児童生徒も見られました。しかし、今回の朝会でとった「なりたい自分」のアンケートでは「まだわからない 見つけられない」と回答した児童生徒はいませんでした。なりたい自分に近づくため、毎日の小さな積み重ねが未来の自分をつくると言われてます。友だちや家族へのやさしい言葉がけ、喜びや悲しみの共有だけでなく、一日10分の復習や体力づくりも同様です。また、新しいことへの挑戦もなりたい自分になるための通過点となります。

3学期は今の学年のまとめと進級・進学に向けて心の準備をする期間です。今年も地域や保護者の皆様と一緒に、麓郷の子もたちを育てていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

※「麓郷の子もたちのこれからを考える会」が21日に行われました。どのような協議が行われたかについては、考える会でお便りを発行し、地域の皆様に閲覧板などでお知らせいたします。



河島早稀先生、ようこそ麓郷小中学校へ

1月から保健室の先生として麓郷小中学校で過ごしています養護教諭の河島早稀です。始業式に中学生から素敵な歓迎の言葉をもらい、小学生からは休み時間に「遊ぼう」と元気に誘ってもらい、学校って楽しいな、幸せだな・・・と感じています。残り2ヶ月、子ども達が健康で元気に過ごせるよう努めて参ります。保護者の皆様には、いろいろご協力いただくこともあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



令和6年度 麓郷小中学校 後期学校評価アンケート結果・考察

		4		3		2		1	
		そう思う		おおむねそう思う		あまりそう思わない		そう思わない	
その1～知育の木・かしこい子									
1	お子様は、学校で学んできたことを、日常生活の中でいかしている。	保護者【7月】		56%		36%		8%	0%
		【12月】		52%		40%		4%	4%
		児童生徒【7月】		36%		64%		0%	0%
		【12月】		36%		57%		4%	4%
1	分析結果から	【現状分析】 ○学校で学んだことを家庭で話題にしている子どもが多いです。 ○子どもが家庭で保護者に話すだけではなく、実際に日常生活で実践している場面や関連することについて子どもが自分で調べている様子を保護者が観察しているようです。 【より良くするための方向性】 ◎学校と保護者との「子どもの学びについての連携」を強化していくことで、保護者は子どもが学校で何を学んでいるかにより関心をもつことができ、子どもとの学びについての対話も深まると考えます。 ◎そのためには、学校が、「学びの意義＝日常生活への応用」であることを家庭にしっかり伝えることと、家庭での「子どもの学び」について、子どもとの関わり方を伝えることが必要と考えます。							
2	お子様は、自分なりの考えをもち、それを伝えようとしている。	保護者【7月】		56%		40%		4%	0%
		【12月】		40%		40%		16%	4%
		児童生徒【7月】		44%		48%		7%	0%
		【12月】		43%		43%		14%	0%
2	分析結果から	【現状分析】 ○多くの保護者は、子どもが自分の考えを以前よりもつようになったと考えているようです。 ○一方で、それを表現するようになったという意見と、自分の言葉で表現するには難しさを感じているという意見が半々です。 【より良くするための方向性】 ◎多くの子どもが自分の考えをもつようになったこと、さらに家庭で自分の言葉でその考えを表現する子どもも出ていることから、現在の取組を継続すべきと考えます。 ◎ただし、自分の考えを自分の言葉で他者に伝えることには未だ課題があることから、現在の取組が形だけのものになっていないか考え、必要なら改善していく必要があります。							
3	お子様は、家庭学習において、自分に合った学習方法を考え、取り組んでいる。	保護者【7月】		48%		36%		16%	0%
		【12月】		36%		44%		12%	8%
		児童生徒【7月】		39%		50%		11%	0%
		【12月】		64%		36%		0%	0%
3	分析結果から	【現状分析】 ○「自分で自分に合った家庭学習のやり方を考え、できている」子どもと「自分に合ったやり方が分からない」子どもに分かれています。 ○「自分に合った家庭学習のやり方で、成果が出ている」子どももいます。 【より良くするための方向性】 ◎自分に合った家庭学習の方法が分からない子どもに対しては、家庭学習のヒントを与えることが必要と考えます。 ◎それを教師が一方的に行うのではなく、例えば子ども同士で家庭学習の取り組み方を交流などをして考えさせることが必要です。また、家庭での学習なので、保護者同士の交流も考えられます。							

23日(木)・29日(水)には小中それぞれのスキー授業、30日(木)には小学校が午前中にスキー授業、午後からはPTA親子行事を行いました。中学校は今年度からは1・2年生のみを対象とした授業となり、インストラクターの方々にもご指導いただき、充実した授業となりました。

小学校は30日が若干の天候の心配はありましたが、久しぶりの降雪のおかげでグレンデの状態がよい中で授業を行うことができました。また、午後は親子と一緒にスキーを楽しむ機会をもつことができました。



中学校スキー授業・小学校スキー学習、親子スキー授業

日	曜日	行事等	日	曜日	行事等
3	月	振替休業日(2/8)	16	日	宮様ジュニアXC大会
4	火	全校朝会	17	月	朝会(中)
5	水	3年入試模試 1・2年学力テスト(中)	18	火	校内研修②
6	木	入学説明会(中) 修学旅行交流会(中2オンライン)	20	木	児童会役員選挙(小) 一斉活動日(中)
7	金	農小ランチ 総割り班清掃(小)	21	金	学年末参観日 PTA総会
8	土	一斉活動日(中)	23	日	天皇誕生日
9	日	登校日(午前授業) 麓郷大会前日準備	24	月	振替休業日
11	日	第53回麓郷クロスカントリースキー大会	25	火	職員会議 口座引落日
12	水	築国記念の日	27	木	交通安全登校指導(小) 修学旅行事前交流会(中2)
13	木	集会(小) スキー授業②(中)	28	金	前期生徒会本部役員選挙(中)
15	土	ふらのジュニアカップ②			

2月の行事予定



令和6年度 麓郷小中学校 後期学校評価アンケート結果・考察

その2～情意の木・やさしい子

4	3	2	1
そう思う	おおむねそう思う	あまりそう思わない	そう思わない

お子様は、元気な挨拶や適切な言葉遣いができ、他者とうまくコミュニケーションをとれる力が育っている。	保護者【7月】	36%	56%	8%	0%
	【12月】	33%	50%	13%	4%
児童生徒【7月】	46%	50%	4%	0%	
	【12月】	57%	36%	4%	4%

4	分析結果から	【現状分析】 ○場や相手に応じたコミュニケーション力に課題があるとの指摘が多いです。 ○保護者に対しては思春期であることや甘えもあると思いますが言葉遣いの悪さの指摘が見られます。 【より良くするための方向性】 ◎小規模校のため、多様な他者との関わりがもてないという状況を反映しており、いかに多様な他者とのかわりをもたせるかがポイントです。 ◎異学年、小中間の交流だけでは不十分、地域人材を活用した授業を通じた地域の人々との関わり、ICTの活用や集合学習による近隣の学校との交流、場合によっては市内大規模校との交流の機会をもつことが必要と考えます。
---	--------	---

お子様は、自分や仲間のよさを認め、相手を思いやり、何事にも協力して取り組む姿勢が育っている。	保護者【7月】	48%	48%	4%	0%
	【12月】	36%	48%	12%	4%
児童生徒【7月】	64%	36%	0%	0%	
	【12月】	46%	43%	11%	0%

5	分析結果から	【現状分析】 ○相手意識が不足しています。 ○小集団ゆえ幼少からの人間関係で自分の主張を通そうとする面が見られるとの指摘があります。 【より良くするための方向性】 ◎根底にはコミュニケーション力、多様な他者との関わり経験が不足していることがあるのではないかと考えます。 ◎ここでも、地域と連携した多様な人々との関わり、ICTの効果的活用や集合学習による近隣校あるいは大規模校との交流が必要と考えます。
---	--------	--

お子様は、自分にできることは何かを考え、自分から行動する力が育っている。	保護者【7月】	44%	52%	4%	0%
	【12月】	36%	40%	20%	4%
児童生徒【7月】	55%	41%	3%	0%	
	【12月】	46%	50%	4%	0%

6	分析結果から	【現状分析】 ○自らできることや周りを楽しませることを率先して取り組もうとする姿勢が育っている子どもとそうでない子どもに分かれるようです。 【より良くするための方向性】 ◎状況や立場から、そのように成長している子どもがいると考えられます。 ◎小規模校の利点を生かし、一人一人がそのような立場や状況に立てる場面を設定していくことが必要と考えます。
---	--------	--

令和6年度 麓郷小中学校 後期学校評価アンケート結果・考察

その3～健康の木・たくましい子

4	3	2	1
そう思う	おおむねそう思う	あまりそう思わない	そう思わない

お子様は、規則正しい生活習慣が身に付き、運動に関心をもち取り組む姿勢が育っている。	保護者【7月】	48%	32%	16%	4%
	【12月】	40%	36%	12%	12%
児童生徒【7月】	46%	46%	7%	0%	
	【12月】	39%	43%	14%	4%

7	分析結果から	【現状分析】 ○朝食をしっかり摂り規則正しい生活を送る子どもがいる半面、規則正しい生活が難しい子どもがいるようです。 ○運動の大切さは理解しているが実践には結び付かない子どもがいます。 【より良くするための方向性】 ◎SNSと生活習慣の乱れに関連があることから、SNSとの正しい付き合い方、自らコントロールする力をつけるための取組が必要と考えます。 ◎食事と睡眠の大切さについて、養護教諭や栄養教諭と連携しながら理解させる取組が必要と考えます。
---	--------	--

お子様は、自己の生活習慣を見直し、改善しようとしている。	保護者【7月】	40%	44%	12%	4%
	【12月】	32%	40%	24%	4%
児童生徒【7月】	46%	43%	7%	4%	
	【12月】	36%	39%	25%	0%

8	分析結果から	【現状分析】 ○一時の生活習慣の乱れをリカバリーする子どもがいる一方、改善しようと思ってもできない子どももいます。 【より良くするための方向性】 ◎まずは自己の生活習慣を振り返り、どこが問題なのか、何ができるか考えさせる取組が必要と考えます。 ◎そして一時の取組で終わらず、継続的な取組とすることが必要と考えます。
---	--------	---

お子様は、自己の将来に共通しをもち、それを実現しようとしている。	保護者【7月】	32%	44%	24%	0%
	【12月】	24%	24%	44%	8%
児童生徒【7月】	29%	54%	11%	7%	
	【12月】	39%	39%	14%	7%

9	分析結果から	【現状分析】 ○将来の夢をもっているが、どのように実現すればよいかわからない子どもと、将来の夢をもていない子どもがいます。 【より良くするための方向性】 ◎将来の夢や職業が何かを考えるという目標にすると、発達段階によってそのようなものはもてる段階ではないため、それが結果に反映しているのではないでしょう。 ◎将来の夢や職業ではなく、短期目標、例えば1学期になりたい自分、2学期になりたい自分など、スローステップで達成していくようにしていく。それが発達段階によっては将来の夢や職業に結び付けばよいのではないかと考えます。
---	--------	--

クロカン各種大会への出場

本格的なスキーシーズンを迎え、クロカンの各種大会が続いています。保護者の皆様もご協力ありがとうございます。



中学校入学に備えて

27日(月)小学校6年生の児童が、中学校への入学に備えて中学校理科の授業を体験しました。それぞれが大変興味をもって授業に参加していました。



子どもたちへ励ましのお言葉をお寄せください

麓郷小中学校を応援してくださっている皆様から子どもたちへ励ましのお言葉をお寄せください。教育活動についての感想も歓迎です。今回は、後期学校評価の結果とその分析について掲載していますので、それに対するご感想や、今回の結果には表れていない子どもたちのがんばりなどもお寄せいただければありがたいと考えています。右の二次元コードから書き込みください。よろしく願いいたします。（「学校だより」に掲載させていただきます。）

